

奄美海上保安部便り 第73号

- ・第73号は2024年9月から2024年11月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



名瀬第二地方合同庁舎開所式

11月20日、奄美市名瀬矢之脇町に新たに整備された「名瀬第二地方合同庁舎」の開所式が開催されました。開所式には、入居官庁となる九州財務局、気象庁、海上保安庁の代表として、九州財務局総務部長、福岡管区気象台総務部長、第十管区海上保安本部総務部長が出席され、また、来賓として鹿児島県大島支庁長、奄美市長（副市長代理出席）にご臨席いただきました。

なお、奄美海上保安部の移転日は12月10日となります。



津波発生時に緊急避難施設として使用する奄美市との協定書を披露



完成した名瀬第二地方合同庁舎

～ 読者アンケート依頼 ～

皆様のご意見を取り入れてより良い業務を心掛けて参りますので、一人でも多くの方のご回答をよろしく御願い申し上げます。



スマートフォンでQRコードを読み込んでアンケートスタート

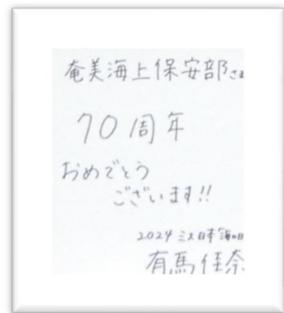


お問い合わせ先 奄美海上保安部 管理課
TEL 0997-52-5811

✚ ミス日本「海の日」有馬佳奈さん来訪

9月9日、ミス2024 ミス日本「海の日」の有馬佳奈さんに奄美海上保安部を来訪していただきました。

有馬さんは報道機関に対して、奄美海上保安部が今年9月10日で発足70周年を迎えることや海上保安庁緊急通報番号「118番」等についてPRしていただきました。



いただいた色紙！

✚ 第25回「未来に残そう青い海図画コンクール」 審査会 in 奄美海上保安部

9月9日、奄美海上保安部において、名瀬美術協会（久保井会長、鈴木様）及び海上保安協会奄美支部（緒方様）をお招きして、奄美群島の小・中学生から応募のあった図画コンクール作品の審査会を実施しました。

奄美群島のきれいな海を連想させる風景や種類豊富な海洋生物の姿が描かれた感性豊かな多数の作品の応募に感謝いたします。



応募のあった作品の数々（一部抜粋）



大島地区消防組合名瀬消防署との合同救助訓練

10月30日午後、名瀬港新港地区3号岸壁前面海域において、4年ぶりに大島地区消防組合名瀬消防署救助隊と奄美海上保安部との合同救助訓練を実施しました。

消防の救助工作車、水上オートバイと巡視船かいもん乗組員、巡視艇いそなみ潜水士等が連携した訓練を行い、海中転落者の救助、捜索方法を相互に共有確認しました。



救助工作車と連携した海中転落者救助訓練



水上オートバイと連携した海中転落者救助訓練



水上オートバイと連携した曳航捜索訓練



瀬戸内町総合防災訓練

11月3日、瀬戸内町全域において、住民約700人、警察、消防、自衛隊、古仁屋保安署等10機関・団体が参加し、「奄美大島近海を震源する地震が発生し瀬戸内町で震度6弱、大津波警報」が発表されたことを想定とした「瀬戸内町総合防災訓練」が開催されました。巡視船いそなみは、古仁屋港の「避難勧告」の広報や自衛隊車両器材を積載したフェリー天長丸との接舷訓練等を実施しました。



瀬戸内町対策本部

フェリー天長丸



海上自衛隊小型艇 (YF)

巡視艇いそなみ

県立大島病院医師による巡視船かいもん見学

11月1日、県立大島病院医師（救命救急センター長：中村医師、麻酔科部長：大木医師）に、巡視船による急患搬送の現状を知っていただくため、船内の状況と急患搬送時の岸壁から船内への搬送経路や手順等の説明を実施しました。



令和6年度第十管区警備救難競技大会「人命救助の部」奄美地区予選
10月15日午後、奄美海上保安部において、令和6年度の第十管区警備救難競技大会「人命救助の部」のエントリーした巡視船あまぎ、巡視船かいもん、巡視艇いそなみの3バディの中から代表2バディを選出すべく、奄美地区予選を実施しました。
巡視船あまぎバディが見事一位を獲得しました。



巡視船かいもん訓練模様

新任者の完熟を兼ね、海難対応時の様々な状況に対し、冷静かつ迅速に対応するため各種訓練を行っています。



11/4 新任者へのGB操船訓練



11/4 漂流者救助訓練



11/9 防火放水訓練

156周年灯台記念日関連行事

◇笠利崎灯台一般公開

11月3日、「156周年灯台記念日」（11月1日）の関連行事として、笠利崎灯台の一般公開を実施しました。当日は144人もの参観者が訪れ、普段見ることができない灯台からの絶景を楽しんでいただき、また、鹿児島航空基地の協力を得て、海域哨戒中の所属機「うみつばめ」が低空飛行で灯台まで近づいてくれるサプライズな演出も行われ、参観者一同から大歓声が上がっていました。



◇海上保安業務協力者の表彰

11月1日の灯台記念日あたり、奄美海上保安部管内で、航路標識の灯火監視協力者として永年にわたり御協力を頂いている5名の皆様に感謝状の伝達、贈呈を行いました。表彰された方々は次のとおりです。

| | | |
|---------------|----------|-----------------|
| 海上保安庁長官表彰 | 坂元 恵津子 様 | 待網崎灯台（大島郡瀬戸内町） |
| | 前 登志朗 様 | 国頭岬灯台（大島郡和泊町） |
| | 山本 政晃 様 | 和泊港導灯（大島郡和泊町） |
| 第十管区海上保安本部長表彰 | 柳 常雄 様 | シツル崎灯台（大島郡喜界町） |
| 奄美海上保安部長表彰 | 奥野 利也 様 | 曾津高崎灯台（大島郡瀬戸内町） |

「灯火監視協力者」とは

灯台等航路標識の灯火が夜間正常に点灯しているかを確認して異常時には保安部に通報していただくように、保安部長が委嘱している個人又は団体の方々に、奄美海上保安部管内では標識35基中32基の監視協力を（個人27名、団体3計30）を得ております。

排出油等防除協議会与論支部、沖永良部支部、奄美支部総会

奄美群島廃出油等防除協議会の与論支部総会（11月5日）、沖永良部支部の総会（11月7日）、奄美支部総会（11月22日）を開催しました。総会後にはそれぞれ流出油防除措置に関する講習とオイルフェンスの展張訓練を実施し、流出油事案発生時の初動対応の確認等を行いました。



沖永良部支部総会の状況

沖永良部支部



奄美支部総会の状況

奄美支部

与論支部

令和6年度海上保安協力員連絡会議

11月13日、奄美海上保安部において、奄美群島各地の海上保安協力員4名を招き、令和6年度の海上保安協力員連絡会議を開催しました。

会議では、最近の海上犯罪の傾向や海洋環境等紹介し、各離島の現況や課題等について意見交換を行いました。



<海上保安協力員とは>

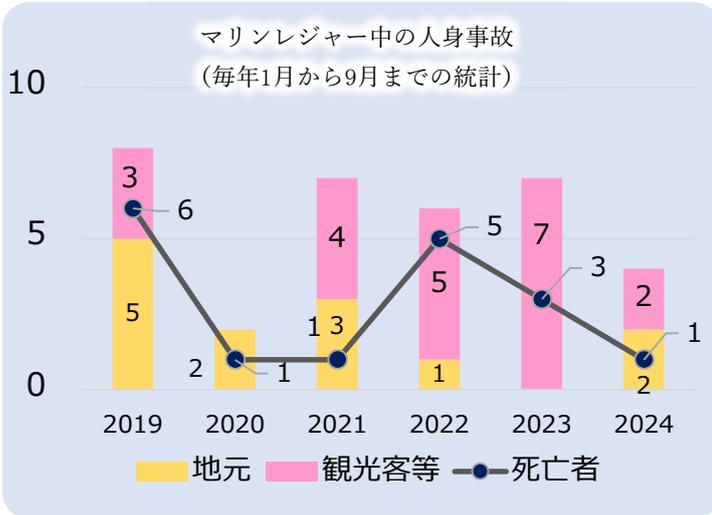
海上保安協力員とは、地域の実情とニーズを理解し、海上、海浜等における防犯活動、安全の確保及び一般市民への海洋環境保全思想の普及啓発活動を行っている海上保安業務への協力者であり、海上保安部署長が推薦し、海上保安協会支部等の長が指名しています。

現在、奄美海上保安部管内では12の方が指名されており、奄美群島の安全安心のため活躍されています。

観光客への海難防止啓発に対するレンタカー会社への感謝状贈呈

マリンレジャー中の事故防止啓発活動への協力として、奄美大島内19の各レンタカー会社の皆様に「奄美の海で楽しく遊ぶためのお約束シール」を車内等に貼っていただきました。この御協力に対して、11月14日、奄美海上保安部長から感謝状を贈呈いたしました。

これら啓発活動の成果により、本年1月から9月までの人身事故は2人（昨年より5人減）となりました。今後も、引き続き、協力を頂くことを確認しました。



「土木フェスタ in あまみ 2024」

11月16日、名瀬港観光船バースにおいて、鹿児島県建設業協会奄美支部主催の「土木フェスタ in あまみ 2024」が開催され、奄美海上保安部も海保ブースを出展しました。

あいにくの雨の中、会場には多くの家族や学生等が来場し、未来の海上保安官たちに海上保安業務のPRを行いました。



海上保安缶バッジ作成中!

🚩 秋季安全推進活動（10/1～10/31）状況

◇10月7日、名瀬市、龍郷町の漁協、釣具店、海岸等において事故防止の啓発活動を行いました。



◇10月16日、17日(木)、宇検村、瀬戸内町の漁協、海水浴場、釣りショップ等において、啓発活動を行いました。



◇10月18日、徳之島において、各自治体、漁協、釣具店等に対して、事故防止の啓発活動を行いました。



釣りを安全に楽しむためのお約束！

- 1 ライフジャケットの着用
- 2 釣り場に応じた履物を着用
- 3 連絡手段の確保（防水ケース入りの携帯電話）
- 4 無理をしない（天気予報を十分に確認、体調は万全に）
- 5 単独行動をしない（一人の時は必ず行動計画を第3者に教えておく）
- 6 立入禁止区域には入らない



✚ あまみエフエム（77.7MHz）に生出演

◇9月19日、交通課長があまみエフエムに生出演し、今年のマリンレジャーの事故発生状況、10月から始まる秋季安全推進活動の概要、台風の海難防止について説明を行い、リスナーに対して事故防止を呼びかけました。



◇11月7日、警備救難課職員と池田次長があまみエフエムに生出演し、「自然豊かな奄美の海を守る」様々な取り組みについて説明とお願いを行いました。

また、12月10日から奄美海上保安部が「新庁舎へ移転」することについて、保安部ホームページの紹介も含めてPRしました。



✚ 海難の発生状況

9月から11月にかけて、管内では2件の船舶事故と4件の人身事故が発生しました。

◇沖永良部島和泊漁港車両転落

9月2日1930頃、事故者（47歳女性）は、代車（車検のため）にて漁から帰ってくる父親を迎えに和泊漁港に来た際、運転操作を誤り、漁港駐車場の車止めを超え前進にて車両ごと海に転落したもので、事故者は車両が沈む前に辛うじて脱出したものです。事故者に怪我無し、救急不搬送でした。

◇瀬戸内町瀬戸埼沖で台風13号避泊中の貨物船走錨乗揚

9月14日、2157噸、事故船舶（915ト、6人乗り）は古仁屋沖で錨泊中、風に流され走錨し、奄美瀬戸埼灯台沖の浅瀬に乗揚げたもので、前部スラスト区画に浸水がありましたが、油漏れ、乗組員に怪我等がありませんでした。（船長からの118番通報）

15日1600噸オイルフェンス展張し、16日0434頃、所有者手配の曳船により引出し離礁し、0635頃、古仁屋港須手地区に着岸しました。船体に軽度の擦過傷、凹損はあるものの、亀裂破孔等の損傷や推進器に損傷はありませんでした。



◇沖永良部島知名町屋子母海岸行方不明（死亡）

事故者（78歳男性）は、9月20日1800頃散歩に出たまま帰宅しないため、家族が探していたところ2100頃同人の車両を知名町屋子母海岸付近で発見し2300頃110番で捜索願いのしたものです。

21日0855巡視船「かいもん」（いそなみ潜水士2名乗船）を発動し、那覇航空基地所属MH975により上空から0912から1013まで捜索しましたが手がかりなく、その後1155捜索中の近隣住民が母屋海岸の洞窟付近でご遺体を発見し、1249頃警察官及び消防救急隊により揚収し、家族により事故者と特定されました。



◇奄美市笠利町崎原ビーチ付近孤立事故

9月25日1915頃、大島地区消防から「崎原ビーチ北側の岩場にて男性1人（31歳）が孤立状態になっている。」と連絡があり、現場に駆け付けた保安部職員が孤立した事故者を確認し、2150頃、同人を岩場から下した後、陸地まで介添えし、2227頃大島地区消防へ引継ぎました。

事故者は9月25日1700頃から犬の散歩中、犬が逃げて岩場付近に向かったため、岩場の上で探していたところ、降りれなくなり1815頃岩場で孤立したものです。

事故者（31歳男性）に怪我等はありませんでした。



◇奄美市笠利町用海岸サーファー行方不明者

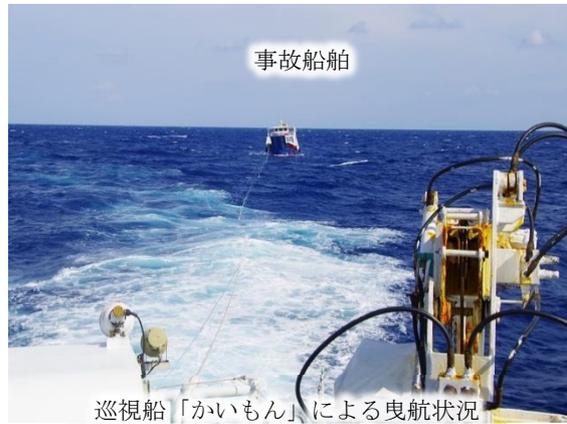
10月21日1645分頃、「奄美市笠利町の用海岸で友人と2人でサーフィンをしていたところ流されて、友人が周囲に見当たらない。」と118番通報があり、警察、消防、市役所、地元消防団、巡視船あさなぎ、巡視船ゆみはり、巡視船かいもん、巡視艇いそなみ潜水士等にて捜索にあたりましたが、現在も行方不明となっています。

事故者（28歳男性）は、1600頃、用海岸にて友人（通報者）とともにサーフィン開始し1630頃、2人とも沖に流され、1640頃、通報者は自力で陸岸に戻れましたが、事故者は行方が分からなくなったものです。



◇十島村小宝島東方機関故障船舶（19トン）（※鹿児島管内の事故、巡視船かいもん対応）

11月5日0526、鹿児島から名瀬港向け航行中の船舶（フェリー19トン、乗組員2人、車両等積載無）から十島村小宝島東方海域において、エンジンが停止したとの118番による救助要請があり、鹿児島保安部指揮のもと巡視船かいもんが救助に向かい、0930事故船舶と会合し、1044曳航を開始し、1750名瀬港内にて事故船舶手配の作業船に引継ぎ、1808に名瀬港に着岸しました。



急患輸送（1件、1人）

◇徳之島からの急患輸送

11月2日1123、鹿児島県から十本部運用司令センターあて徳之島において両側緊張性気胸に罹患した男性患者（66歳）の急患輸送要請がありました。

奄美海上保安部は、巡視船かいもんを徳之島に急行させ、1725亀徳港において患者を徳之島地区消防組合から引継ぎました。

同巡視船には、徳之島徳洲会病院の医師1名及び看護師1名が同乗して2130名瀬港へ到着し、2140患者を救急隊へ引渡し県立大島病院に搬送しました。



2日1725亀徳港にて消防から巡視船「かいもん」に引継ぎ



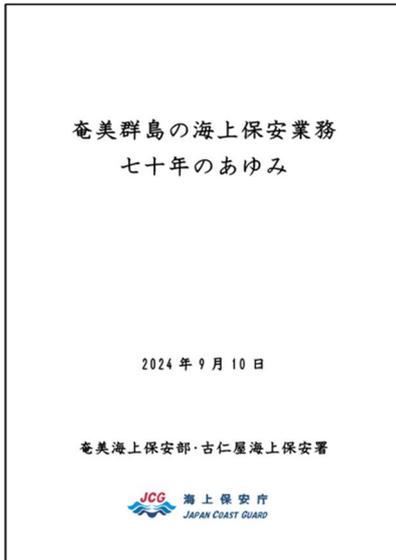
2日2140名瀬港にて救急隊へ引継ぎ

【お知らせ】

◇奄美海上保安部、古仁屋海上保安署創設70周年記念誌「奄美群島の海上保安業務七十年のあゆみ」のホームページ掲載について

奄美海上保安部、古仁屋海上保安署は、令和6年9月10日をもって、創設70年を迎え、この度、「奄美群島の海上保安業務七十年のあゆみ」として記念誌を取りまとめ、奄美海上保安部ホームページに掲載しました。

発足当時から現在にいたるトピックス、変遷等を是非ご覧ください。



(トピックスから抜粋)

1956(昭和31)

- 1.23 名瀬海上保安部が2階建ての単独新庁舎へ入居。



完成した名瀬海上保安部庁舎

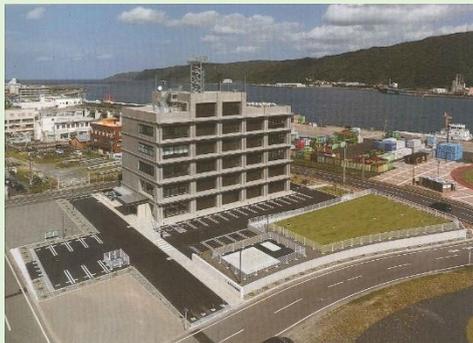


(参考) 昭和31.1頃の古仁屋海上保安署

◇12月10日、奄美海上保安部は、新庁舎に移転します。 新しい住所等は次の通りです。

〒894-0033 鹿児島県奄美市名瀬矢之脇町26番1号
名瀬第二地方合同庁舎

| | | | |
|----|------------|--------------------|--------------------|
| 4F | 奄美海上保安部管理課 | TEL : 0997-52-5811 | FAX : 0997-57-1254 |
| 4F | 同上 警備救難課 | TEL : 0997-52-5812 | FAX : 0997-52-5824 |
| 3F | 同上 交通課 | TEL : 0997-53-5569 | FAX : 0997-57-1253 |



奄美海上保安部

古仁屋海上保安署